

# 建設大臣賞

## 若宮西町緑陰歩道整備事業

(表彰対象者：愛知県豊田市)

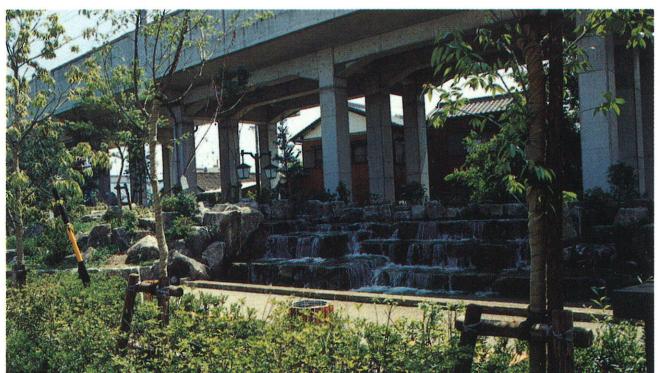
### 表彰の理由

この歩行者専用道路は、都心におけるアメニティゾーンとして“せせらぎ”と“みどり”に配慮がなされているだけでなく、高架下空間を子供の遊び場として一体的に活用するなど、ゆとりと潤いのある都市空間の創出のために、キメ細かな工夫が施されている。

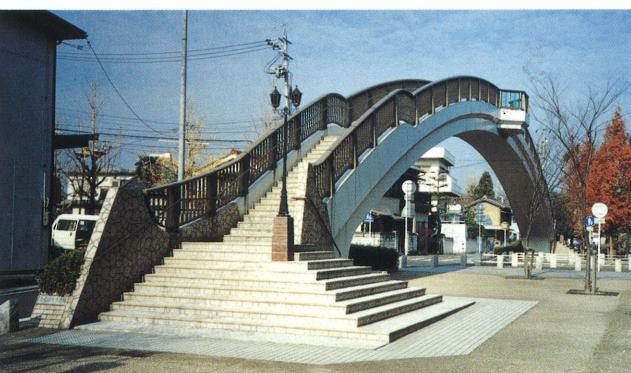
### 事業のあらまし

この事業は、都心部を南北に走る名鉄三河線の豊田市駅を中心とした連続立体交差事業に伴う関連側道を歩行者専用道として整備したもので、“せせらぎ”や“みどり”を取り入れ都心部のアメニティ向上に貢献するばかりでなく、官公署や文化、福祉の諸施設を結ぶ歩行者道路としても重要な役割をもち、さらに鉄道高架下については都心部の希少な空間として緑陰歩道と一体的な利用を図るために整備したものである。

- 延長：960m
- 幅員：6～12m
- 事業費：724百万円
- 事業実施期間：昭和61年5月～昭和63年3月



段滝広場



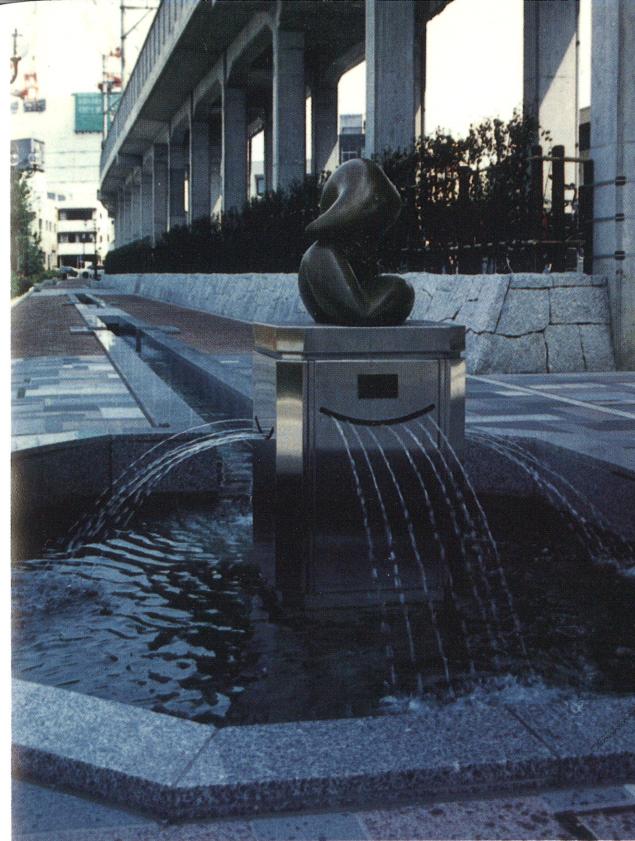
横断歩道橋



せせらぎの源



カナルの小径



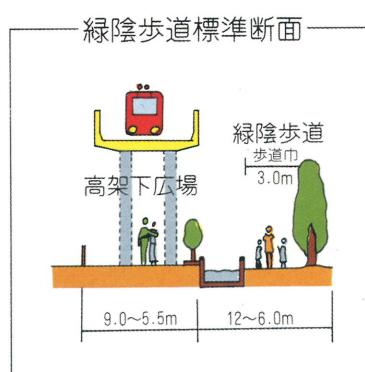
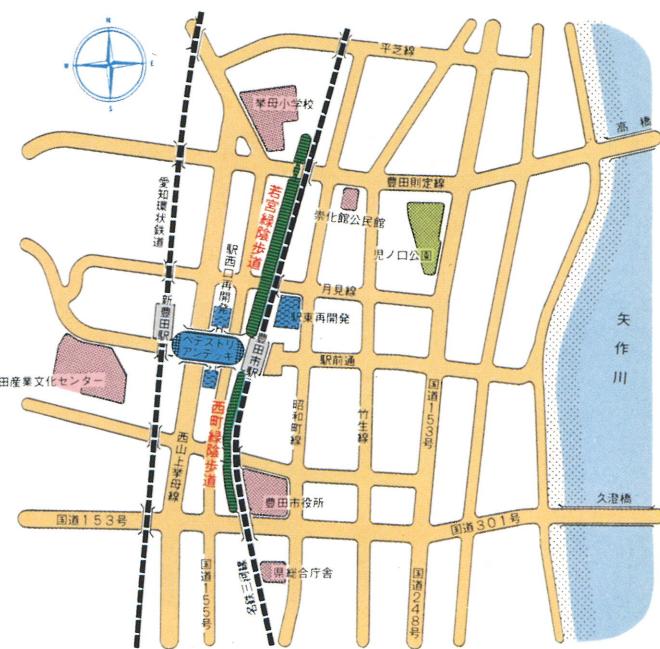
モニュメント「女」



モニュメント「ひまわりの精」



ストリートアスレチック

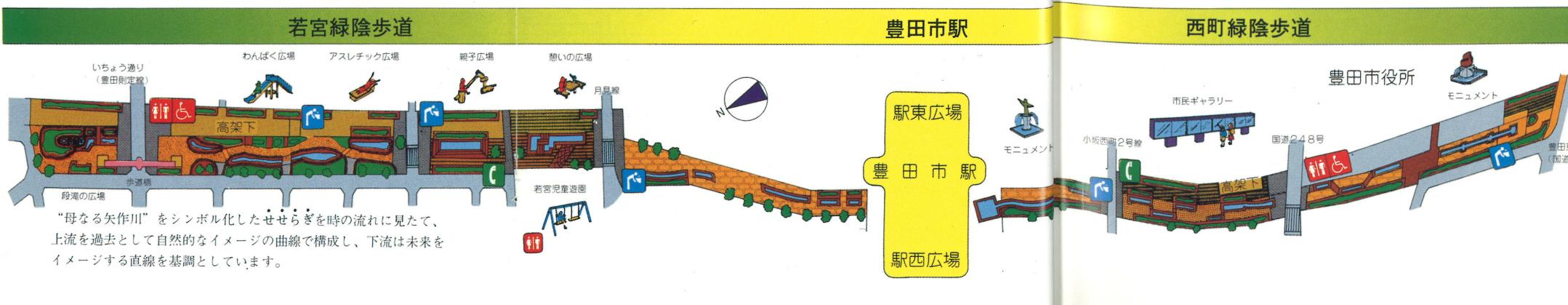


### 事業遂行上の工夫

- 市の中心部を流れる一級河川矢作川をシンボル化した“せせらぎ”を時の流れに見立てて上流を過去として自然的なイメージの曲線で構成し、下流は未来をイメージする直線を基調とした。

- 季節の移り変わりを感じさせる樹々を組み合わせて、都心部に変化、アクセントをつけた。

- せせらぎの親水性、安全性に工夫。



### 受賞者のコメント

「流れが結ぶ活力、みどりそしてふれあい」を基本テーマに整備した本市の若宮・西町緑陰歩道が第1回全国街路事業コンクールにおいて建設大臣賞の栄誉に輝いたことは、本市はじめ街路事業に携わるものにとってはまことに名誉なことであり、今後の都市づくりに大きな励みとなるものである。